

自治体やJRグループなどが力を合わせて『地域』を全国で紹介する「DESTINATIONキャンペーン(DC)」が、平成20年10月から12月まで実施されます。

■DCは県内各地の知恵比べ

DC期間中はJR6社と旅行関連会社などが、大々的に仙台・宮城を全国に売り出すことから、仙台までは大勢の観光客が来ます。しかし、仙台から先への誘客については各地域の知恵比べになります。

■平成19年度にはプレDCを実施

プレDCは、本番となる平成20年10～12月に行われるDCの予行として、19年10～12月に行われます。DC推進協議会登米地域部会では、どのような企画で参加するのかを現在検討しています。プレDCの企画内容は5月中旬に、本番の企画内容については8月中旬に決定しなければなりません。「プレDCや本番DCの期間中にこんなイベントをやる予定がある」という情報がありましたらお寄せください。

■「冬のほっ登米」ツアーを実施しました

DCに向けて、「冬のほっ登米(とめ)」ツアーを2月の毎日曜日に実施しました。これは、PRの効果や設定した市内観光ルートの評判を見るために実施したものです。参加者は新田駅に集合し、伊豆沼の野鳥観察の後、「みやぎの明治村」へ移動。登米(とよま)の街並みを観光後、愛菜館、石ノ森章太郎ふるさと記念館を経て新田駅に戻るルートを楽しみました。バスが無料だったことありますが、新聞に取り上げられたことやポスターをJR東日本仙台支社管内の車内吊り掲示した効果が表れ、募集定員を大幅に上回る参加申し込みがありました。今回の実施によって、DCによる誘客が期待できることが確認され、また魅力ある企画内容が重要であることも分かりました。市民皆さんと一緒にこの事業を進めていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

みんなで盛り上げよう！
仙台・宮城DESTINATIONキャンペーン



【情報提供・問い合わせ】
産業経済部商工観光課 観光物産係
☎0220(34)2734

「市農業産出額1日1億円」
のキャッチフレーズ決まる
『めざせ1日1億円、がんばろう登米市農業』

「登米市農業産出額1日1億円」を目指し、キャッチフレーズを募集したところ、市内から72点の応募がありました。

応募された作品を1月17日、市や農業協同組合、土地改良区、農業共済組合、農業委員会、県などで構成する登米市農村戦略推進会議(会長・布施孝尚登米市長)で選考した結果、採用作品が決定しました。

採用されたのは佐藤誠さん(佐沼高2年・迫町)の「めざせ1日1億円、がんばろう登米市農業」。農業所得の向上を推進するキャッチフレーズとなっています。

採用された佐藤さんには、市内の道の駅・直売所などで使用できる3万円分の共通商品券が贈られます。また、優秀賞の佐藤順子さん(登米町)には1万円分、佳作の芳賀則夫さん(迫町)と小早谷辰巳さん(上沼高1年・登米町)には、それぞれ5千円分の共通商品券が贈られます。

採用されたキャッチフレーズは今後、市内5カ所の幹線道路沿いに農業振興用看板として設置します。

【問い合わせ】

農村戦略推進会議室
(産業経済部農村戦略推進室内)
☎0220(34)2491

登米市農業産出額1日1億円
キャッチフレーズ入選作品(敬称略)

◎最優秀賞
「めざせ1日1億円、がんばろう登米市農業」
佐藤 誠(佐沼高2年・迫町)

◎優秀賞
「元気・有機・やる気 がんばろう登米市農業 1日1億円」
佐藤順子(登米町)

◎佳作
「目標1日1億円・輝く大地 登米市農業！」
芳賀則夫(迫町)
「めざすは1日1億 ガンバレ登米市」
小早谷辰巳(上沼高1年・登米町)

農業者と消費者が共生できる農業農村を

登米市農業活性化推進大会

「登米市農業産出額1日1億円」を目標に、地域資源循環型農業の実現、農業者と消費者が共生できる農業農村を目指して、農業活性化推進大会を開催します。

- 【日時】 3月20日(火)午後1時～4時30分
【場所】 登米祝祭劇場
【内容】 ①記念講演 演題「食と農の未来を考える」
■講師 NHK解説委員 合瀬宏毅さん
②パネルディスカッション
テーマ「顔と心とフィールドが見える産地づくりをめざして」
■コーディネーター 東北大学 両角和夫教授
■パネラー 農業者代表、消費者代表
③大抽選会 抽選で牛肉、野菜などが当たります。



【入場料】 無料(ただし整理券が必要です)
【整理券配布先】 各総合支所地域生活課、JAみやぎ登米各営農センター、JA南三陸津山支所、市内の直売所
【問い合わせ】 農村戦略推進会議室(産業経済部農村戦略推進室内)
☎0220(34)2491

募金機能付き自動販売機を
迫老人福祉センターに設置

飲み物買ったら
募金はいかが？

清涼飲料水などを買うときに募金ができる「募金機能付き自動販売機」が、このほど迫老人福祉センター内に設置されました。

「ハートフル福祉募金(仙台市)」。販売機には10円と100円の「募金ボタン」が取り付けられており、ボタンを押すとその分の金額が釣り銭から差し引かれます。また、商品を購入しないで募金だけの利用も可能です。利用するときに指一本で簡単に募金ができるこの自動販売機は、県内では平成18年4月から企業や役所などの自動販売機コーナーに設置されていますが、市内では初めての設置になります。集まった募金に加えて、管理者、設置業者、飲料メーカーの売り上げや手数料の一部も、宮城県共同募金会へ寄付されます。皆さんのご協力をお願いします。



迫老人福祉センター内に設置された「募金機能付き自動販売機」。市内では初めての設置で、「10円」「100円」単位で募金ができます